

あはれ今年の「夏」もいぬめり…

学園祭が終わりました。今年の本校の学園祭のテーマは「夏」がテーマ。「青春× Daito ～二度と戻らないこの夏～」でした。

私たちは、時をさかのぼって生きなおすことはまずできません。そういう意味で、すべての時間は平等に「二度と戻らない」。しかし、思い出の中には、刻印の深さと、鮮烈な印象をもって心の中に立ちあらわれる「二度と戻らない」時が確かにあるはずです。きっと、それこそが、今の自分を作っている根っこにかかわっている時間にあたるのではないのでしょうか。



生徒会長が体育祭の最後のあいさつで、「この学園祭にかかわる時間が終わってしまうことが寂しい」と語っていました。それは、この日常を超えた時間がそう言わしめるほどに特別なものだったからだともいえると思います。この夏の学園祭が、いつか、たとえば、心折れてやるせない時にあっても、何かしらのときめきと華やぎをもって自分を支えてくれる力になることを願っています。

体育祭当日は、前日の天気予報では、降水確率0%だったにもかかわらず、午前中はほとんどひっきりなしの雨でした。



そんな中で行った競技の中に、保育園の園児の皆さんと一緒にいう競技がありました。

雨の中で順番を待つ間、小さな子供さんたちが濡れてしまわないだろうか、風邪をひかないだろうか、はらはらしながら見守っていましたが、大東保育園から次のような保護者さんの感想付きのお便りをいただきました。その一部を引用させていただきます。

- …優しいお兄さんにタオルを身体にかけてもらい、雨の中でも冷えずに乗り切りました。どうなることかと思いましたが、雨も弱まり、お兄さんのやさしさとタオルで本番は素晴らしいダッシュができました。
- …雨も降りましたが、お姉さんに手や服で雨をよけてもらったと喜んでいました。
- …お姉さんが呼びに来てくれた時、とっても恥ずかしそうにしていたので心配していましたが、でも、ちゃんと手をつないでもらっていざ競技が始まるとすごい勢いで走って行ったので安心しました。

しみじみありがたく思いました。雨に我が子が濡れたことを怒るでもなく、十分ではなかったかもしれませんが、それでも自分のできることをしようとした高校生の心配りに目を向けてくださっていた保護者の皆さんの温かさに心打たれたお便りでありました。ここにも高校生を応援してくださる方々がおられる。お礼状としていただいたお便りでしたが、そのことに心からの感謝を申し上げたい。そんな心のこもったお便りでありました。

3年生はもうすぐ就職試験が始まります。センター試験受験者集会もあり、受験モードに突入しています。生徒会も2年生にバトンが渡されます。次のステージに向けて学校は動き出しています。
がんばれ！！ 大東高校生！！

